

# 会 議 録

付属機関又は会議体の名称		教育に関する事務の点検・評価委員会(第3回)
事務局(担当課)		教育委員会事務局 教育総務部 教育総務課
開催日時		平成25年7月25日(火)午前10時00分～午前11時30分
開催場所		豊島区役所地下一階 教育委員会室
出席者	委員	飯塚委員長、壺内委員(職務代理)、和田委員
	関係者	教育長、教育総務部長、学校施設課長
	事務局	教育総務課長、教育総務課庶務係長、教育総務課主事
公開の可否		公開・非公開・一部公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の場合は、その理由		
会議次第		<p>《議事》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本日の評価について</li> <li>2. 事業ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市型環境教育の推進</li> <li>西池袋中学校の改築、芝生の維持管理</li> </ul> </li> <li>3. 日程確認</li> </ol>

## 審議経過

飯塚委員長)

それでは、第3回教育に関する点検・評価委員会を開会いたします。

### 【議事】

#### 1. 本日の評価について

飯塚委員長)

本日の評価について、教育総務課長からご説明いただきます。

＜教育総務課長 資料説明＞

飯塚委員長)

まず、学校視察の評価表について、ここに記載されているものの他にご意見はありますかということですが、西池袋中学校について、いかがでしょうか。

「意欲のある教員が芝生や植栽の維持・発展に努めている。」とあります。課題として、教員だけでなく、生徒が主体的に行動して環境を維持していかなければいけないと思います。雑司ヶ谷茄子の栽培ももっと生徒が参加してもよいと思います。

壺内委員)

環境教育を教育課程のどこに位置付けるかはとても重要になってきます。中学校では、位置づけも難しいのですが、一部の教員だけでなく学校全体で動いていないと、地域の協力を得ることができません。学校、行政、地域が一体となって、新校舎の環境を維持していかななくてはいけないと思います。

飯塚委員長)

生徒会や委員会で学校環境を維持していくことが大切です。維持管理に熱心に取り組んでいた先生が異動しても、生徒が同じように継続して取り組んでいけないと意味がありません。芝生も望ましい状態で維持させていかなければなりません。

また、校舎が良くなっても学校は変わっていきません。学校の中身を良くしていくためには、校舎が新しくなったからこそできる取組みを実施していく必要があります。快適な校舎になったのですから、夏休みには補習授業等を開催しても良いと思います。快適な校舎をどのように活用していくかが重要です。

教育総務部長)

学校の体質を変えたり、仕組みづくりを新たに構築するのは難しいことだと感じます。ですが、教育委員会事務局の事業として長期休暇中の補習授業を実施しております。この事業は、地域の大学生等を補習支援員とし、近隣の大学と連携し有効的に活用しております。

飯塚委員長)

補習授業を実施することは非常に良いと思います。補習授業が終わりましたらテストを実施する等して、補習の効果についても分析すると良いと思います。

壺内委員)

西池袋中学校では、電力消費量が把握できるシステムがあったり、窓がとても大きかつ

たり、太陽光発電量も掲示されており、子どもたちの節電に対する意識も高まると思います。太陽光発電量の掲示は特に良いと思いました。設置場所も毎日目につくところなので良いと思いました。

三田教育長)

全庁的に太陽光パネルを設置するだけでなく、見える化していこうという計画が進んでいます。また、緊急時には、校内で発電した電力を使用できる学校にしていくこともできます。電力消費がどれくらい変化しているのか記録した継続データを用いて、生徒や教員の意識啓発をしていくことが課題だと感じています。

和田委員)

子どもたちに、改築中に設備の説明をしておくが良いと思いました。太陽光パネルの意味や発電量の掲示の意味等、仮校舎にいる段階で生徒に説明しておくことによって興味を持つと思います。防災設備についても説明しておけば、地域の防災について、また、災害時には自分がどういう行動をとるべきか、生徒が考えるきっかけとなると感じます。数十年に一回あるかないかの貴重な機会を活用していただきたいと思います。

飯塚委員長)

木のぬくもりを感じることでできる校舎でした。裸足で廊下を歩いたり、肌で木のぬくもりを感じていただきたいと思いました。

他になければ、富士見台小学校について、和田委員、いかがでしょうか。

和田委員)

ビオトープを作るところからホタルの飼育まで、全てに児童が関わっていましたし、ホタルの見学会を開いて、地域の方にも開かれているところも非常に良いと思いました。

壺内委員)

里山から木を切り出してきて、ビオトープを作る段階から地域と一緒に活動し、その段階から環境教育がスタートしていると感じました。環境教育の先進校としてふさわしいと思います。今年度、校長先生が代わったそうですが、前任の校長先生から引き継いで、さらに充実させながら発展させているなど感じました。

また、西池袋中学校にも言えることですが、設備は非常に素晴らしいのですが、有効的に活用していくためには、地域、行政、生徒とともに学校が維持管理していかなければいけません。教員は部活で忙しいし、管理職だけでは負担だと思います。各学校で、維持管理をしていくための担当教員、つまり地域の架け橋となる教員を決めて、行政も地域と力を合わせて協力的に動いていく必要があると思います。

課題としては、5年生を中心にビオトープを活用しているようですが、1年生から6年生までが何らかのかたちでビオトープと関わっていけるとよいなと感じました。6年生は特に中学校との接続の問題があると思います。ビオトープを通じて生き物を大切にする心、思いやりの心が生まれ、中学校でも健やかに生活していけると思います。

教育総務部長)

維持管理につきましては、学校施設課は整備の面で、また教育指導課からも指導主事が学校に関わっていきますし、教育総務課はPTAの担当課として地域の方にも働きかけて

いきたいと思います。

壺内委員)

今の時期は集中豪雨もありますし、いざというときの対応はどうなっているのですか。

三田教育長)

集中豪雨等で水が多く供給されたときも一定の水位を保つことが出来る仕組みになっております。空間が限られているのでその中で育てることのできる植物は限られていますが、今後、発生する問題について、学校がどのように対応していくかが重要だと考えています。今後もホタルが飛ぶ環境を維持していくことはもちろん、設備面で問題が起きたときは教育委員会も協力していきたいと考えております。

飯塚委員長)

生き物を育てることで、人間として大きく成長することができると思います。都会の子どもたちには、非常に貴重な経験だと思いますので、維持管理をお願いいたします。

学校視察評価表について、他にご意見がなければ次へ進みたいと思います。よろしいですか。

(委員全員異議なし)

## 2. 事業ヒアリング

飯塚委員長)

それでは、各事業の評価を行います。学校施設課長から西池袋中学校の改築についてご説明いただきます。

<学校施設課長 資料説明>

飯塚委員長)

この件について、ご意見はありますか。

体育館の壁面緑化等でどのくらいの効果があるのですか。

学校施設課長)

ここの壁面緑化の面積は約50平米で、CO<sub>2</sub>の削減効果は年間約200キロです。武道場とあわせて、約170平米が壁面緑化ですので、約700キロのCO<sub>2</sub>が削減されます。

飯塚委員長)

10パーセントのCO<sub>2</sub>を削減するとありますが、これは全ての合計ですか。

学校施設課長)

屋上緑化、壁面緑化、太陽光パネル等の効果を全て合計して、10パーセントのCO<sub>2</sub>を削減するという事です。電気使用量についても、前年比、約15パーセントの削減となっております。

飯塚委員長)

そういった設備は維持管理が大変だと思いますが、専門家が管理しているのですか。

学校施設課長)

壁面緑化は、雨水を活用した自動灌水装置で管理しておりますので自動で整備されます。  
三田教育長)

補足ですが、緑化した地表面は5度くらい気温を下げる効果があります。体育館は上下に窓があり、冷たい空気と熱い空気の交換ができる設備が備わっておりますし、屋上の緑化は3階の室温を下げる効果があります。

壺内委員)

電気料金は従来の建物よりは安いのですか。

学校施設課長)

太陽光パネルを活用しておりますので、約15パーセントの削減となっております。

太陽光発電は、土日で学校で電力を使わないときの余剰電力は、1キロワットあたり42円で売電しております。飯塚委員長)

屋上の芝生は、もっと活用していく必要があると思います。生徒にアンケートをとってもよいかもしれません。

壺内委員)

そうですね。素晴らしい環境だと思いますが、生徒を維持管理に参加させたり、屋上緑化の活用する方法も先進校として考えていただきたいと思います。

三田教育長)

緑の効果はたくさんあります。施設の特徴をつかみ、どのような場面で活用できるかを考えることは今後の課題だと思います。現在は学校も試行錯誤している状態だと思います。屋上を子どもたちに自由に活用してもよいと開放することは難しいのかもしれませんが、ストレッチをしたり、自然と触れ合う機会を設けることが大切だと考えております。

壺内委員)

4月は出会いの時期ですので、屋上で1年生と2年生がお昼ご飯を食べたり、交流したりする場を設けることもよいと思います。

飯塚委員長)

生徒が使うなら芝生が傷んでもよいと思います。そこをまた生徒とともに整備して、上手く活用していただきたいと思います。

和田委員)

現在の屋上の状況では、生徒も遊びづらいと思います。芝生を活用するという意識がないため、あのように芝生を刈ってしまったと思いますが、芝生は活用するものだという意識を持って、きちんと活用していただきたいと思います。

飯塚委員長)

夜間照明も売電しているのですか。

学校施設課長)

売電はしておりません。自立型の照明で、日が出ているときに発電して、夜は明かりをつけています。

三田教育長)

この照明は非常に重宝しております。災害時や防犯の面でも有効です。

和田委員)

こういう設備があること、この設備が自立型で発電していることは、子どもたちは知っ

ているのですか。

学校施設課長)

防災訓練等の機会に子どもたちにも伝えていると思いますが、確認したいと思います。

飯塚委員長)

全職員と生徒が心をひとつにして、これらの設備を維持管理していただきたいと思いません。

では、評価を行います。壺内委員、いかがですか。

壺内委員)

教育委員会事務局の事業としては、効率性と有効性、ともにAでよいと思います。

飯塚委員長)

和田委員、いかがですか。

和田委員)

ハード面とソフト面に分けて考えるということだと、どちらもAでよいと思います。教育委員会から、ソフト面についても、指導していただきたいと思いません。子どもたちが新しい設備にもっと関心が持てるように働きかけていただきたいです。新しい校舎に移って、まだ1年もたっておりませんので、今後に期待しております。

飯塚委員長)

では、西池袋中学校の改築については、効率性と有効性ともにAということをお願いします。

次に、芝生の維持管理について、学校施設課長からご説明いただきます。

<学校施設課長 資料説明>

飯塚委員長)

この件について、ご質問等ありますか。

三田教育長)

説明の補足なのですが、豊島区は他区と比べて学校の面積も狭く、芝生の運動場は活用しづらいというのが現状です。東京都は運動場の芝生化を現在も推進しておりますが、豊島区として何が一番良いのかということについて、委員の皆様からご意見をいただきたいと思いません。

壺内委員)

子どもたちの体力の向上を目標にしておきながら、校庭が使えない期間があるというのは、少し問題があると思いません。豊島区で芝生化を導入するのであれば、部分的な芝生化が良いと思いません。特に中学校でも部活動がありますし、部分的に芝生化を導入して環境教育も推進できるのが一番だと思いません。8月に芝生が一番良い状態になるそうですが、夏休みですし、あまり使う機会はないと思いません。

飯塚委員長)

教育委員会としては、今後は熱交換塗料の全天候型を進めてくという考えですか。

三田教育長)

その通りです。熱交換塗料は私の経験からも大変効果があるということがわかっており

ます。子どもたちの体力の向上を目指し、なおかつヒートアイランド対策にも効果があるということで、良い方法ではないかと考えております。あわせて、校庭の面積にもよりますが、一部は芝生化して、子どもたちが自然とふれあえる場があるのが一番良いと考えています。

飯塚委員長)

他に意見がなければ評価を行いたいと思います。和田委員、いかがですか。

和田委員)

長崎小学校は子どもの数も少なく運営が上手くいっているということですが、養生期間には半面しか使えません。そういったところを考えると、部分芝生化が一番かなと感じます。地域の声としては、天然芝は防災面でも良い、全天候型は防災面に弱いという印象をお持ちの方がいます。そういった方にきちんと説明して、ご理解をいただくことも必要です。

芝生の養生等が上手くいっていない学校もあるようですし、効率性、有効性ともにBだと思います。

飯塚委員長)

壺内委員、いかがですか。

壺内委員)

どちらもBでよいと思います。外で思いっきり遊べない時期があるのは、少し問題だと思います。

飯塚委員長)

では、芝生の維持管理は、効率性と有効性ともにBでお願いします。

三田教育長)

Bという評価をいただきましたが、清和小学校等では課題がたくさんあると感じています。今後は、その課題を解決していかなければいけないという問題意識を持って、進めていきたいと思います。ありがとうございました。

### 3. 日程確認

<事務局 日程の確認>

飯塚委員長)

それでは、第4回につきましては、7月30日に審議をするということによりお願いいたします。

以上で、第3回教育に関する事務の点検・評価委員会は終わります。ありがとうございました。

#### ・提出された資料

資料No. 3-01 評価表

資料No. 3-02 学校視察評価表

学校施設課説明用資料

